

授業名	英語教育ゼミナールB－1	開講年度学期	2026 年 1 期
担当教員	Jason Walters		
主要テーマ と 学習目標	<主要テーマ> Positive Psychology in Language Learning and Teaching 言語学習と教育におけるポジティブ心理学 <学習目標> ・ ポジティブ心理学の基本概念(セリグマンの PERMA モデル)を理解する ・ ポジティブ感情が言語学習に与える影響を理解する ・ フロー状態とエンゲージメントの重要性を理解する ・ 成長マインドセットとレジリエンスの概念を理解し、実践に活かす ・ 教師と学習者のウェルビーイング(感情調整、燃え尽き予防)について理解する ・ flourishing 環境としての教室づくりの方法を学ぶ 具体的には、 ポジティブ心理学の理論を言語教育の文脈で理解する。 教室における学習者と教師の幸福度を高める具体的な方法を学ぶ。 成長マインドセットとレジリエンスを育てる指導法を身につける。		
授業計画	第 1 回: Introduction 第 2 回: The “Science of Happiness” in Education 第 3 回: The Positive Classroom 第 4 回: What is PERMA? 第 5 回: Flow and Engagement 第 6 回: Class Presentations #1 第 7 回: Growth Mindset 第 8 回: Resilience and Perseverance 第 9 回: Mindfulness for Teaching and Learning 第 10 回: Learner Strengths 第 11 回: Class Presentations #2 第 12 回: Positive Psychology Review 第 13 回: Final Project - Research & Outlining 第 14 回: Final Project - Consultations (ONLINE) 第 15 回: Final Project - Demonstration		
成績評価	・ Weekly Reflections / Google Classroom Discussions : 10% ・ Topic Presentations (2 回) 30% (各 15%) ・ Activity Demonstrations 20% ・ Final Project : 30% ・ Proactive Participation in English : 10%		
使用教科書	Helgesen, M. (2019). <i>English teaching and the science of happiness: Positive psychology communication activities for language learning</i>. ABAX ELT Publishing. ISBN: 978-1-78547-013-4. (この教材は、3 年次と 4 年次を通して使用します)		
備考			

授業名	英語教育ゼミナールB-2	開講年度学期	2026 年 2 期
担当教員	Jason Walters		
主要テーマと学習目標	<主要テーマ> Positive Psychology in Language Learning and Teaching 言語学習と教育におけるポジティブ心理学 <学習目標> ・ ポジティブな教室環境と情意的エンゲージメントの重要性を理解する ・ 強み(ストレングス)に基づく指導法を学ぶ ・ 言語学習者の自己効力感とエージェンシー(主体性)を育む方法を理解する ・ マインドフルネス、感謝、savoring(味わう)実践の効果を理解する ・ 感情重視の指導法(教師の即時性、ユーモア、共感)を学ぶ ・ EFL 環境における人間関係と社会的つながりの構築方法を理解する ・ フローと楽しさを生み出すタスクデザインの原則を学ぶ 具体的には、 学習者の強みを活かした指導アプローチを実践する。 マインドフルネスや感謝の実践を教室活動に取り入れる方法を身につける。 エンゲージメントと楽しさを高めるタスクやアクティビティをデザインできる。		
授業計画	第 1 回 : Introduction & Reflection 第 2 回 : Designing Positive Classroom Activities 第 3 回 : Planning Micro-Teaching Activities 第 4 回 : Microteaching - Activity 1 第 5 回 : Positive Classrooms around the World 第 6 回 : Class Presentations #1 第 7 回 : PERMA 2.0 第 8 回 : Journaling for Achievement 第 9 回 : Physical Well-Being 第 10 回 : Happiness in EFL Textbooks 第 11 回 : Class Presentations #2 第 12 回 : Activity Practice and Peer Feedback 第 13 回 : Final Project - Research & Outlining 第 14 回 : Final Project - Consultations (ONLINE) 第 15 回 : Final Project - Demonstrations		
成績評価	・ Weekly Reflections / Google Classroom Discussions : 10% ・ Topic Presentations (2 回) 30% (各 15%) ・ Activity Demonstrations 20% ・ Final Project : 30% ・ Proactive Participation in English : 10%		
使用教科書	Helgesen, M. (2019). <i>English teaching and the science of happiness: Positive psychology communication activities for language learning</i>. ABAX ELT Publishing. ISBN: 978-1-78547-013-4. (この教材は、3 年次と 4 年次を通して使用します)		
備考			